

2024

3
March

十三公民館だより

発行 十三公民館 ☎・Fax 91-1755

異世代交流
ソバ打ち体験教室

2月17日（土）午前10時から十三公民館で異世代交流ソバ打ち体験教室を開催しました。

この事業は、親子、高齢者等のふれあいの場を設けることによって、人と人の絆を深め地域コミュニティの活性化を図るもので、この日は児童12名、保護者及び高齢者19名の合計31名が参加しました。

ソバ打ちの講師には、九頭龍工房 JAひみそば道場の荒木稔さん（仏生寺）、広栄和さん（大浦）、干場芳美さん（柿谷）にお願いしました。



茹で担当の人達はストップウォッチを使って慎重に茹で上げていました。

茹で上がったソバに差し入れのあった鴨肉を入れたつゆをかけ、美味しく一緒にいただきました。

参加したひとは、市販のソバではこんな食感は味わえない、次回も参加したいと思いますと語っていました。今年のソバは長くてコシがあって美味しかったと感想を述べる子もあり、茹でた人達の努力の賜物でないかと言う声も上がるなど、皆さん楽しい時間を過ごしました。

三世代交流事業として実践することができ、地域の絆を強くする事業として、今後も続けていきたいと思っています。



講師の広さんからソバ粉と小麦粉の混合割合や水分量などの説明を聞いたあと、講師の荒木さんの模範打ちを見学しました。その後、3グループに分かれて混ぜ合わせ、水回し、ねりこみ、へそ出し、まる出し、四つ出し、切りまでみんな交替で行いました。

今回は特に、講師の先生からの指示で茹で時間を1分40秒にして、麺が絡まないよう茹で揚げるコツなど具体的な指導を受けました。



十三地区地名の語源

仏生寺集落

○ホソゴエ 細越

細い峠道。人跡希薄な間道。

○ウワハラ 上原

原は土地の広く平らな所であるから、上原は上の方即ち高いところにある原の意で、この下にあるものを単に原と称呼している。味川・論田にも同地名がある。

○ワキノヤチ 脇之谷内

ワキは国道の傍らにある所の称。

脇之谷内は古代の射水郡にあり、礪波郡との境に位置しており、トウゲという通称地名もある。

ヤチはアイヌ語で「沼沢」の意味があり、この地形の中には普通の河川と異なり、谷盆地を称呼するものが多い。

○オオクボ 大窪

広域な、または大きな窪地のこと。

○アコウ 阿効

「日本地名学」によれば、アコウは潜水漁に巧みな海人族の遺した地名らしく、海岸や河川など水に縁のある場所に多く志摩半島にアゴ湾がある。地引網をひく漁夫をもアンコオといったことは万葉集にある。馬引を馬子といったように、網引きを網子といったのかもしれない。

阿効谷内は海岸線から六キロもはなれた山陰にあるが、太古入海であったことは事実であるから、地名学の説も考えられぬことではない。

3月の講座案内

講座名	曜日	実施日	時間	講師名
詩吟	月	4日・11日・18日・25日	10時30分～	平井静子先生
詩吟	月	4日・11日・18日・25日	13時30分～	大賀さよ子先生
手芸	火	5日・12日・	13時00分～	
茶道(保育園)	火	5日	10時00分～	みどり保育園
三味線	木	7日・21日	19時30分～	山下茂昭先生
バランスボール	日	24日	10時30分～	浦野 司先生
オカリナ	金	8日・22日	14時00分～	尾崎春夫先生

オカリナグループ®️会員募集

新しい命が芽吹く春が来ました。新しいことを始めるまたとない機会です。素朴で優しい癒しの音色をあなたもどうぞ。

手軽に吹ける「オカリナ」で潤いのある毎日を送りませんか。

「フ(吹)ケばフ(老)ケない」を合言葉に、練習に励んでいます。お気軽に見学や体験にお越しく下さい。講座の開催日程は **3月の講座案内** を御覧ください。



♪♪♪♪ **オ**もしろい♪ **カ**んたん♪♪ **リ**ラックス♪♪♪ **ナ**かよし♪♪♪♪

会場は、十三公民館 1階研修室です。お問い合わせは、十三公民館 ☎91-1755まで